

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2011年4月24日現在

概況：ノース・ダコタ州の2011年4月24日に終わる1週間の気象は、多少前週より気温が上がったが平年以下の低温の湿潤気象であった。各地の平均気温は概ね平年を1~2度F下回った。1週間の降水量はNW地区が少なく0.01~0.26インチ、NE地区もこの時期としては少雨で0.08~0.69インチであった。その他の地区では0.26~1.51インチであった。4月22日にはSW地区にて降雪となったが、週末になり各地は好天となった。Topsoilの土壌水分は多少前週より“Surplus”が減少したが、未だに53%が“Surplus”であり、農作業の開始は例年より大幅な遅れが予想された。USDAの予想では農作業の開始は早い地区で5月2日、遅い地区（東北地区）は5月9日との予想を発表した。州平均の農作業開始期は5月6日の予想であった。これは昨年より18日、5年平均より15日の遅れである。USDAの春小麦作付面積予想では、ノース・ダコタ産硬質は類小麦は昨年より70万エーカー増え710万エーカー（290万ヘクタール）と予想された。

2011年4月24日現在：土壌水分(*)

(%)		Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	0	47	53
	Last week	0	0	45	55
	Last year	0	8	80	12
	5-Yr Avg.	6	13	65	16
Subsoil	This week	0	0	53	47
	Last week	0	1	54	45
	Last year	0	4	83	13
	5-Yr Avg.	8	17	62	13

(*) Source: USDA, NASS North Dakota Office. 5-yr average means 2006, 2007, 2008, 2009 & 2010 crop average.

以上